

[グプタ朝とインドの古典文化]

4世紀…**チャンドラグプタ1世**はガンジス川流域に**グプタ朝**を建てる。

→インダス川流域まで征服し、北インドを統一

**グプタ朝** 建国：チャンドラグプタ1世 都：パートリップトラ

4世紀…チャンドラグプタ1世により建てられる。

4世紀半ば…2代サムドラグプタの征服事業。

4世紀末…**チャンドラグプタ2世**(超日王)のとき全盛期。

・グプタ朝の最大領域を現出。

・東晋の僧：**法顯**が陸路で来訪し海路で帰る。後に『**仏國記**』を著す。

・純インドの文化が栄える。

⇒6世紀半ば…遊牧民族**エフタル**の侵入でグプタ朝は滅びる。

〈グプタ朝時代の文化〉

**ヒンドゥー教**…バラモン教が土着の宗教と結びついて成立した宗教。

シヴァ神(破壊の神)、ヴィシュヌ神(世界維持の神)などを中心とする多神教。

→ヒンドゥー教のもとで人々が生きる規範が『**マヌ法典**』まとめられた。

→7世紀頃…シヴァ神やヴィシュヌ神に絶対的な帰依を表すバクティ運動が南インドから広がる。

⇒14世紀頃…バクティ運動が北インドにも波及してシク教の成立に影響

**佛教**…無着、世親らが大乗佛教を研究。

**ナーランダー僧院**を中心に研究が進められる。

・**アジャンター石窟寺院**…グプタ様式の壁画が残されたインド東部の寺院。

・エローラ石窟…断崖に掘られた佛教、ヒンドゥー教、ジャイナ教の寺院。

**カーリダーサ**…『**シャクンタラー**』：マハーバーラタをもとに書かれたサンスクリット文学の最高峰。

**ゼロの概念**…グプタ朝で発明され、西アジアを経てヨーロッパに伝わった。